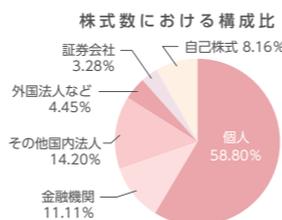


（備考）記載した数値は、記載未満の桁数を切り捨てにより表示しています。

株式の状況 (2018年9月30日現在)

発行可能株式総数 普通株式 8,800,000 株
 発行済株式総数 普通株式 2,552,946 株
 (自己株式 208,236 株を含む)
 単元株式数 100 株
 株主数 3,158 名



大株主	株主名	持株数	持株比率
	三栄コーポレーション取引先持株会	127千株	4.98%
	(株)三菱UFJ銀行	114	4.47
	東銀リース(株)	111	4.37
	SMB C日興証券(株)	75	2.95
	水谷裕之	65	2.58
	(株)三井住友銀行	63	2.47
	三栄グループ従業員持株会	50	2.00
	綜通(株)	49	1.94
	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	49	1.93
	三井住友信託銀行(株)	42	1.65

(注) 1. 持株数は表示単位未満を切り捨て、持株比率は小数第3位を四捨五入して表示しております。
 2. 持株比率は自己株式を含んで算出しております。
 3. 当社では自己株式を 208,236 株保有しております。

株主メモ (2018年9月30日現在)

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで
 定時株主総会 6月に開催
 基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日
 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株)
 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株証券代行部
 電話0120-782-031 (フリーダイヤル)
 (郵便物送付先) 電話照会先
 公告の方法 電子公告の方法により行います。
 公告掲載URL <https://www.sanyaicorp.com/>
 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

● 中間配当金のお知らせ

第70期中間配当金として、1株につき60円をお支払いいたします。口座振込をご指定の株主様には、2018年12月3日にご指定の口座にお振込みいたします。口座振込をご指定でない株主様は、中間配当金領収証により、2018年12月3日から2019年1月11日までの間に、お近くのゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りください。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

株主通信 第2四半期決算報告 2018年4月1日～2018年9月30日

～ To Our Stock Holders ～



株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。また、平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2019年3月期第2四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年9月30日まで）の事業概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、台風や地震などの自然災害が下押し要因とはなったものの、好調な企業業績を背景として、雇用・所得環境の改善傾向が持続したこと、個人消費の基調には変化がなく、緩やかな景気回復基調が続きました。一方、日本経済を取り巻く環境をみると、米国が保護主義的な通商政策を一段と強めたことで貿易摩擦がさらに顕著となるなど、先行きの不透明感を拭い切れない状況が継続しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高につきましては、前年同期比4.3%減少の208億4千2百万円となりました。通期の見通しにつきましては、期初発表予想から大きな乖離が発生し、株主の皆様には多大なご迷惑とご心配をおかけして誠に申し訳ございません。引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。

当社は株主の皆様に対する利益配分を重要施策の一つと認識し、業績・配当性向などを総合的に勘案のうえで安定した配当を実施することを基本方針としております。当期の中間配当につきましては、この方針に従い、期初の予想のとおり1株につき60円とさせていただきますのでご案内申し上げます。また、期末配当（1株につき100円）と合わせた年間配当は、1株につき160円とさせていただきますのでご紹介します。

2018年12月

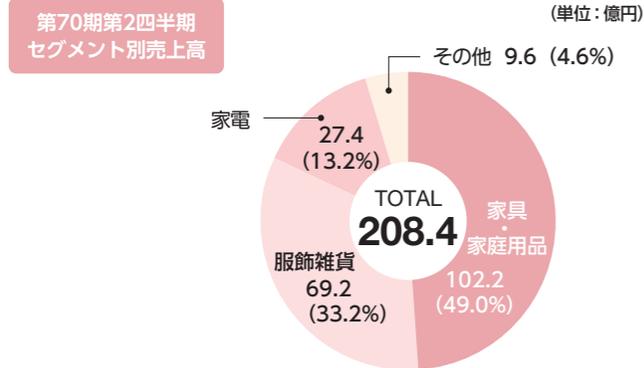


代表取締役社長 小林 敬幸



● 事業の概況

当第2四半期連結累計期間の連結売上高につきましては、前年同期比4.3%減少の208億4千2百万円となりました。利益面につきましては、売上高が減少したことに加えて売上総利益率も低下したことから、売上総利益は前年同期比6億5千1百万円減少の57億9百万円となりました。営業利益につきましては、販売費は減少しましたが、一般管理費が増加したことから、前年同期比7億5千1百万円減少の2千9百万円となりました。経常利益につきましては、為替予約の実現益の計上はありましたが、前年同期比7億4千6百万円減少の1億7百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期比4億9千9百万円減少の1千2百万円の損失となりました。セグメント別の業績については、中面のセグメント別概況をご覧ください。



● セグメント別概況

家具・家庭用品事業

当報告セグメントの売上高は、前年同期比10.6%減少の102億1千6百万円となりました。OEM事業では、欧米向け家庭用品の売り上げが大きく減少したことを主因に売り上げ減少となりました。ブランド事業では、「MINT(ミント)」をはじめとする家具・インテリアのネットショップの売り上げは伸長しました。一方、ドイツのテーブルウエアブランド「Villeroy & Boch (ビレロイ アンド ボッホ)」等を販売する(株)エッセンコーポレーションは、主力ブランドの入れ替えにより売り上げが減少しました。セグメント利益については、売上高の減少に加えて売上総利益率も低下したことから、前年同期比5億6千5百万円減少の1億8千8百万円となりました。



家電事業



Vitantonio.

当報告セグメントの売上高は、前年同期比1.1%増加の27億4千4百万円となりました。OEM事業では、三發電器製造廠有限公司の売り上げが前年実績を下回ったものの、国内向けの売り上げが増加したことから、OEM事業の売り上げは増加となりました。また、ブランド事業においては、

服飾雑貨事業

当報告セグメントの売上高は、前年同期比9.0%増加の69億2千4百万円となりました。OEM事業では、国内向け海外向けともに売り上げが増加となりました。ブランド事業においては、ベルギー発のプレミアム・カジュアルバッグブランド「Kipling (キプリング)」を販売する(株)L&Sコーポレーションの売り上げは増加となりましたが、ドイツのコンフォートシューズブランド「BIRKENSTOCK (ビルケンシュトゥック)」等を販売する(株)ベネクシーの売り上げは減少となりました。セグメント利益については、売上高は増加したものの売上総利益率が低下したことから、前年同期比2千万円減少の1億6千2百万円となりました。



BIRKENSTOCK

「Vitantonio (ピタントニオ)」ブランドの調理家電の売上減を主因に、(株)mhエンタープライズの売り上げが減少となりました。セグメント利益については、売上高は微増したものの売上総利益率が低下したことに加えて、ブランド事業における期初計画を上回る先行投資もあり、前年同期比6千1百万円減少の1千9百万円の損失となりました。



TOPICS

Kipling (キプリング) 日本限定チェックプリントを発売

ベルギーのプレミアム・カジュアルバッグブランドKipling(キプリング)の日本限定のチェックプリントモデルを2018年秋冬シーズンに向けて2018年9月から直営店や全国の百貨店、オンラインストア等にて発売を開始しました。日本限定のチェックプリントは、シックな黒をベースに淡いピンクとイエローのチェック柄で甘さを加え、落ち着いた色合いで大人の女性にも相応しい上品なデザインとなっており、秋の装いにフェミニンさをプラスします。この機会にぜひ店舗やオンラインストアにお越しいただき、あなたのお気に入りを見つけてください。



A4サイズポストンバッグ



特許技術を搭載した電動歯ブラシ「ION-Sei」(イオンセイ)の販売開始

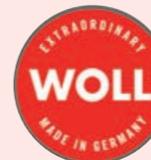
共同開発の特許技術を搭載した電動歯ブラシ「ION-Sei」(イオンセイ)を2018年8月からドイツとイギリスの市場で販売を開始いたしました。「ION-Sei」は、紫外線が出るLEDライトを酸化チタン棒に当てて発生させたマイナス電子によって歯垢を除去し、同時にバクテリアの増殖を抑制してツルツルの歯を長持ちさせる技術に、ドイツ人デザイナーによる、機能的でユーザーフレンドリーなプロダクトデザインを掛け合わせて開発しました。長年OEM(相手先ブランド製品の製造)事業で培ってきたノウハウと特許技術で開発した「ION-Sei」を通して欧州市場における新たな販路開拓と顧客層拡大を進めるとともに、当社グループの長期的な方向性の1つに掲げる海外売り上げの拡大を図ってまいります。



ION-Sei

ドイツ発最高級鋳物アルミニウム調理器ブランド「WOLL (ヴォル)」の取扱い開始

ドイツ人シェフ ノルバート ヴォル氏は、自ら開発・製造することを始め、1979年にドイツのザールブリュッケンで「最高級鋳物アルミニウム調理器ブランド」 「WOLL(ヴォル)」を創業いたしました。高機能のダイヤモンドコーティングのWOLLは、ドイツ製の信頼性の高さや、取っ手を取り外してそのままオープンで使用できる利便性の高さや、シェフ自らのデモンストレーションもあり、瞬く間にドイツ全体に広まり、現在では55カ国以上の国で販売されているグローバルブランドへと成長しました。WOLLの秀逸性が当社の経営ビジョンに合致していることから、取り扱いを開始することとなりました。今後、日本市場でのブランド認知度向上を目指してまいります。



● 会社概要 / 役員一覧 / 主な子会社

会社概要 (2018年9月30日現在)

商号	(株)三栄コーポレーション
創業年月	1946 (昭和21) 年10月
設立年月日	1950 (昭和25) 年2月20日
資本金	10億91万4,500円
従業員数	連結1,312名 (契約社員含む)
本社	〒111-8682 東京都台東区寿四丁目1番2号 三栄寿ビル 電話 03-3847-3500 (代表)
支社	東京
事業所	大川 (福岡県久留米市)
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ市場 (証券コード: 8119)



当社公式サイト



役員一覧 (2018年9月30日現在)

代表取締役社長	小林 敬幸	取締役	寺本 将憲
常務取締役	村瀬 司	取締役 (監査等委員)	樋口 功
常務取締役	清水 誠二	【社外】取締役 (監査等委員)	今井 靖容
常務取締役	柴田 涉	【社外】取締役 (監査等委員)	水上 洋
取締役	佐野 雅彦		
取締役	田山 敬一		
取締役	水越 雅己		

主な子会社 (2018年9月30日現在)

国内子会社	(株)ベネクシー (株)mhエンタープライズ (株)L&Sコーポレーション (株)エッセンコーポレーション (株)ペピカ (株)サムコ (株)エス・シー・テクノ 三栄興産(株)
海外子会社	TRIACE LIMITED 三發電器製造廠有限公司 三發電器製品 (東莞) 有限公司 三栄貿易 (深圳) 有限公司 三暉国際貿易 (上海) 有限公司 SANYEI CORPORATION (MALAYSIA) SDN. BHD. SANYEI (DEUTSCHLAND) G.m.b.H.